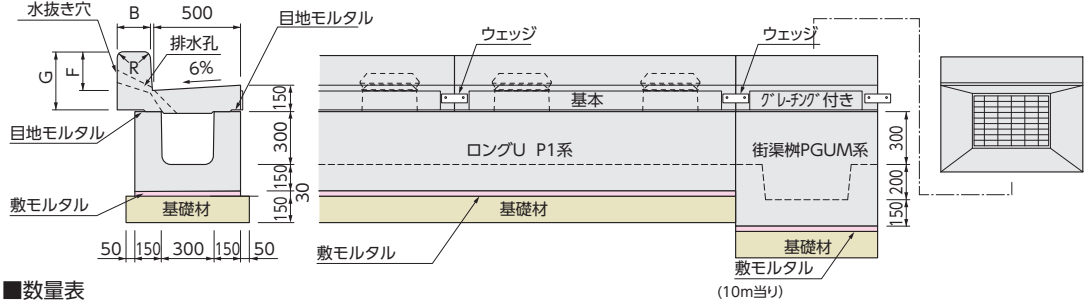


エプロン標準施工図

施工図

■標準施工図



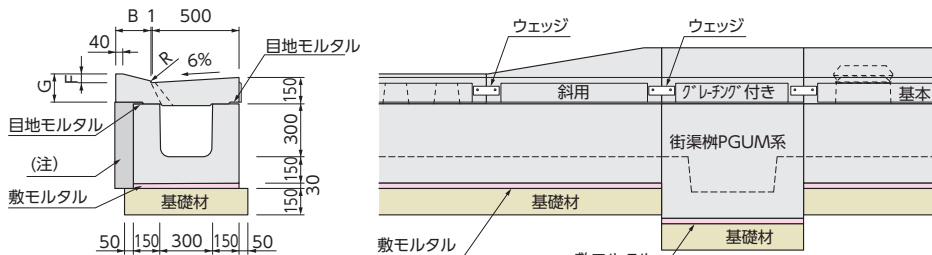
■数量表

呼称	寸法(mm)								敷モルタル (m ³)	基礎材 (m ³)
	B	D	F	G	I	R	L			
PGUF-A	150	665	150	270	150	20	1995	0.18	1.0(1.05)	
PGUF-B	180	700	200	320	150	30	1995	0.18	1.0(1.05)	
PGUF-C	180	705	250	370	150	30	1995	0.18	1.0(1.05)	

(10m当り)

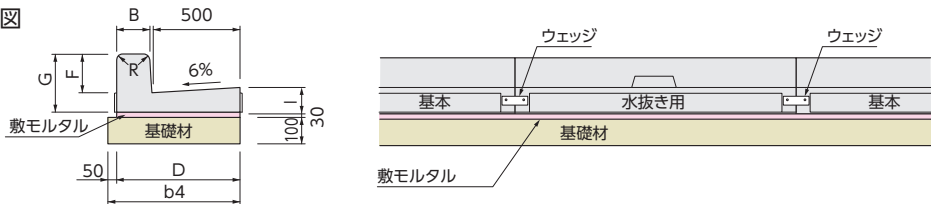
※基礎材の()内の数値は捨てコンの場合に使用しています。

■自動車乗入部施工図



(注)乗用車を超える車両が乗り入れる箇所では図のように添えコンクリートを施してください。
※乗り入れ部に街渠樹は原則として使用しないでください。

■標準施工図



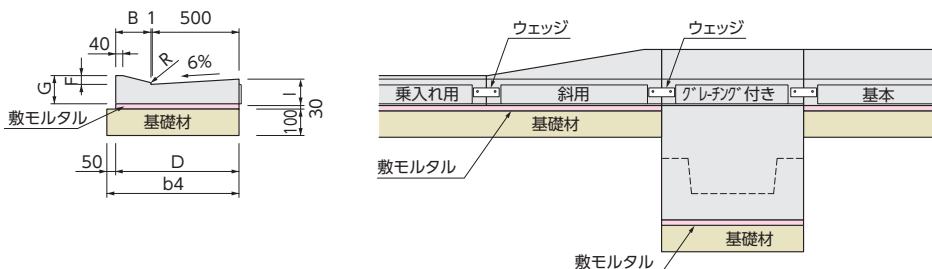
■数量表

呼称	寸法(mm)								基礎b4 (mm)	敷モルタル (m ³)	基礎材 (m ³)
	B	D	F	G	I	R	L				
PGF515-A	150	665	150	270	150	20	1995	765	0.20	0.7(0.72)	
PGF515-B	180	700	200	320	150	30	1995	800	0.21	0.8(0.80)	
PGF515-C	180	705	250	370	150	30	1995	805	0.21	0.8(0.80)	

(10m当り)

※L=1995mmは基本用及び乗入れ用の寸法で、グレーチング付き、斜用、役物用はL=995mmです。
また、基礎材の()内の数値は捨てコンの場合に使用しています。

■自動車乗入部施工図



設計上のお願い

- ① エプロンの設計においては、一般車両(T-25)を考慮しています。
- ② 街渠のエプロン厚(l) は下表を参考にして、交通量により使い分けるものとします。
なお、側溝付き街渠のエプロン厚(l)は、交通量に関係なく150mm とします。

交通量の区分		大型車交通量 (単位:台/日・一通行)	エプロン厚 (mm)
※1 呼名(1)	※2 呼名(2)		
N1	L交通	15未満	150
N2		15以上、40未満	
N3		40以上、100未満	
N4		100以上、250未満	
N5	B交通	250以上、1000未満	200
N6	C交通	1000以上、3000未満	
N7	D交通	3000以上	

- ※ 1 舗装設計施工指数
(平成18年度版(社)日本道路協会)
- ※ 2 舗装の構造に関する技術基準同解説
(平成13年7月(社)日本道路協会)

- ③ 側溝の種類は用途によってPGU,PGUF,PG,PGFの4種に区分します。

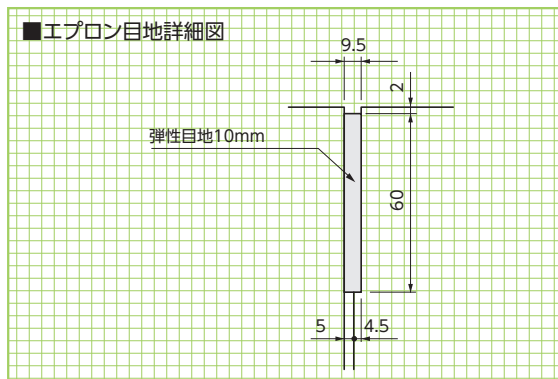
種類	用途
PGU	U型側溝の上のせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型
PGUF	U型側溝の上のせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がフラット型
PG	路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型
PGF	路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がフラット型

- ④ 街渠及び側溝付き街渠はセミフラット型歩道を標準とします。ただし、バス停留所はマウンドアップ型歩道を原則とします。
- ⑤ 街渠及び側溝付き街渠の乗り入れ部はテーパ付き乗入用を標準とします。
- ⑥ 原則として乗入箇所には、街渠樹(集水樹)を設置しないでください。
- ⑦ 目地間隔は、直線部においては5mmを標準として、曲線部においては最大値を10mmとしてください。

施工上のお願い

- ① 荷卸し保管場所は、なるべく布設地点に近く、地盤が堅固で平坦な場所を指定してください。もし、適当な場所が得られないときは、枕材等を用いて製品に無理な荷重が掛からず、荷くずれがないよう適宜処置を施してください。
- ② 重量物なので、安全のため、荷卸し時および施工時には製品の下には絶対に入らないように注意してください。
- ③ 小運搬および据付にはトラッククレーンを使用してください。小運搬および据付時に弾性目地がはがれないように設置してください。
- ④ エプロンPGU,PGUF型は、ロングU相互の接続部とエプロン相互の接続部が一致するように設置してください。
- ⑤ 連結金具ウェッジにより、エプロン相互を連結してください。
- ⑥ エプロンPGU,PGUF型では、ロングUとエプロンの接触部の目地モルタルは充分に充填してください。不十分な場合、施工後、ガタついたり、エプロン相互の接触部が破損することがあるので注意してください。特に乗入れ部においては、注意が必要です。
- ⑦ エプロンPGU,PGUF型の据付時に、位置調整が必要な場合、鋼製または、樹脂製のライナー等を用いて調整することができますが、その場合でも、ロングUとの間の目地モルタルは必ず充填してください。
- ⑧ 敷モルタルの施工後は、養生期間をおいた後、車両を通行させてください。やむを得ず早期に開放する場合は、鋼板等を敷き、荷重が分散するよう工夫してください。

弾性目地について(エプロン分)



弾性目地の厚みは、10mmです。